

HYD ヒドラジン

発色：無色→濃黄

測定原理：*p*-ジメチルアミノベンズアルデヒド法

測定範囲：0.03 ~ 1.00 mg/L (ppm)

試薬：WAK-HYD K-1(液体)、チューブ

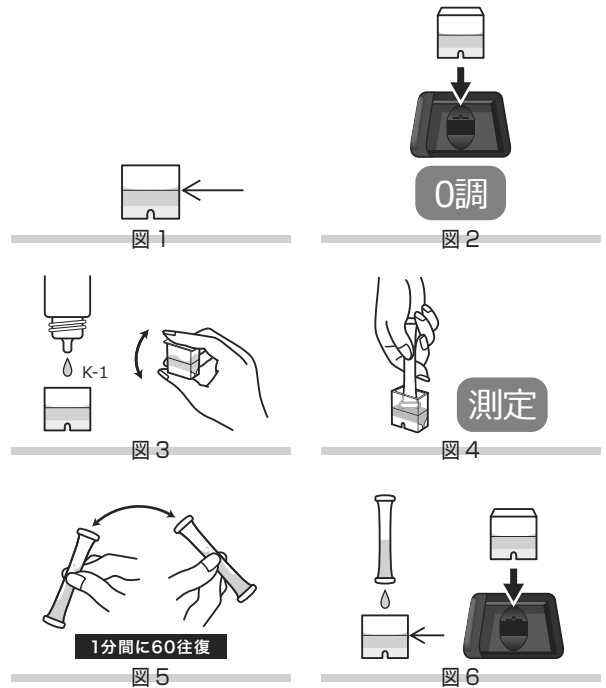
測定時間：チューブに吸い込み後 20分

セル：専用カップ

使用波長：455 nm, 480 nm

測定方法

- 1.【HYD】を押します。
- 2.【決定】を押し、測定画面に切替えます。
3. 検水を、専用カップに1.5mL(線まで)採ります。(図1)
4. 専用カップをセルボックスに入れ、【0調】を押します。(図2)
5. K-1試薬を2滴加え、蓋をして2～3回振ります。(図3)
6. パックテストのチューブに、専用カップの検水を全量吸い込み、同時に【測定】を押します。(図4)
7. 6. のチューブを1分間に60往復、左右に転倒させて振り混ぜます。(図5)
8. すぐに専用カップにチューブ内の測定液を静かに戻し、セルボックスに再びセットし静置します。(図6)
9. 経過20分後に濃度が自動表示されます。



注意

1. 発色時の最適 pH は2以下です。pH が9以上の検水は希硫酸等で中和してから測定してください。
2. 検水の温度は15～30℃で測定してください。

共存物質の影響

内蔵の検量線は、標準液を用いて作成しています。他の物質の影響が考えられる場合は、公定法と比較するか、標準液添加法により測定値を確認してください。

右表は、標準液に単一の物質を添加した場合の測定値への影響データです。

海水は影響しません。

1000mg/L以下は影響しない	…Al ³⁺ 、B ³⁺ (ほう酸)、Ca ²⁺ 、Cl ⁻ 、Co ²⁺ 、Cu ²⁺ 、F ⁻ 、Fe ²⁺ 、I ⁻ 、K ⁺ 、Mg ²⁺ 、Mn ²⁺ 、Na ⁺ 、NH ₄ ⁺ 、Ni ²⁺ 、NO ₃ ⁻ 、PO ₄ ³⁻ 、SO ₄ ²⁻ 、Zn ²⁺ 、シリカ、フェノール
500mg/L //	…CN ⁻ 、Mo ⁶⁺ (モリブデン酸)、SO ₃ ²⁻
200mg/L //	…Cr ³⁺
100mg/L //	…陰イオン界面活性剤
50mg/L //	…Fe ³⁺
5mg/L //	…Ba ²⁺
1mg/L //	…V ⁵⁺ (バナジウム酸)
少しでも影響する	…Cr ⁶⁺ (クロム酸)、NO ₂ ⁻ 、残留塩素

試薬に関するお知らせ

パックテストに付属の使用法をご参照ください。

K-1試薬および測定液は pH2以下です。